

大阪信用金庫の健康経営について



大阪信用金庫は、「地域金融機関として中小金融の円滑をはかり、地区内産業経済の発展と一般大衆の繁栄に寄与する」を基本方針に掲げています。

この実現に向け、「金庫が地域や取引先の繁栄に寄与するため、役職員の一人一人が持っている能力を最大限に発揮し、成長することができるよう、心身ともに健康で長く働き続けることができる職場づくりを行う」ことを健康経営の推進方針としました。

当金庫は、今後も「健康経営の促進」を重要な経営課題と位置づけ、職員と地域の皆様の健康増進の実現を組織的に実行していきます。

大阪信用金庫 理事長 高井 嘉津義

基本方針・健康経営宣言・安全衛生指針

基本方針

- 一、地域金融機関として中小金融の円滑をはかり、地区内産業経済の発展と一般大衆の繁栄に寄与する
- 一、常に堅実なる経営を維持し、役職員は信義誠実を旨とし、和をもって協調し、金庫の永遠の発展と繁栄をはかる
- 一、役職員の健康と幸福を追求し、常に自信と誇りを保ち、夢のある職場づくりをめざす

健康経営宣言

大阪信用金庫は、「中小金融の円滑をはかり、地区内産業経済の発展と一般大衆の繁栄に寄与する」という基本方針の実現に向け、職員一人ひとりが心身ともに健康で生き生き働くことができる組織作りを行うとともに、職員と家族、また地域住民の方の健康リテラシー向上に寄与する金融機関を目指します。

安全衛生指針

1. 働く人の心と体が健康になるような職場づくりに努めます。
2. 施策の計画・実施・チェックを行い、新たな改善に努めます。
3. 労働安全衛生・健康に関する情報を役職員に提供し、意識を高めます。

心の健康づくり計画

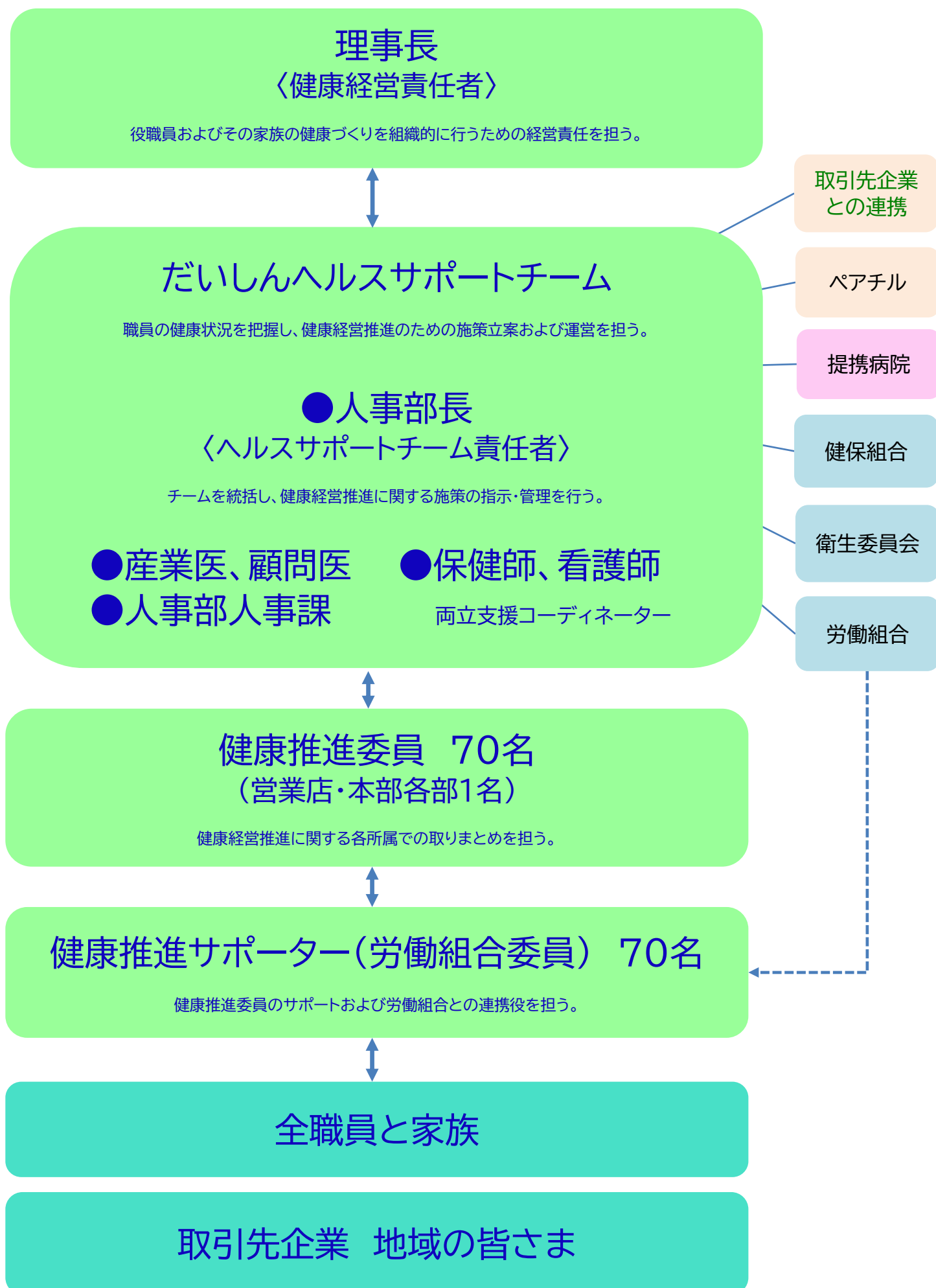
方針

心の健康が活気ある職場のために重要であることを認識し、メンタルヘルス不調への取組だけでなく、コミュニケーションの活性化など、職場における心の健康づくりに取り組む。

目標

- ① 管理監督者を含む役職員全員が心の健康問題について理解し、心の健康づくりにおけるそれぞれの役割を果たす体制の構築。
- ② 円滑なコミュニケーションの推進により、活気ある職場づくりの実施。
- ③ 職場環境を原因とした、心の健康問題の発生防止。

健康経営体制



KPIの実績と目標値

<取り組み状況に関するKPI>

KPI	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 目標
BMI 25以上の率 (40才以上)		33.1%	32.0%	32.4%	33.4%	32.0%
ハイリスク者の治療継続率			100%	100%	100%	100%
ハイリスク者への保健指導率			100%	100%	100%	100%
血圧リスク者率 (40才以上)		0.3%	0.6%	0.3%	0.00%	0.00%
平均月間所定外労働時間	8.9時間	6.4時間	7.8時間	9.6時間	10.9時間	10.0時間
有休取得率	58.7%	76.4%	80.5%	80.5%	80.1%	82.5%
有休取得平均日数	10.4日	13.4日	14.4日	14.2日	14.3日	15.0日
高ストレス者割合* 2023年～ (方法変更)	9.3%	8.4%	9.7%	13.9%	14.4%	13.0%
福利厚生への満足度					76.7%	80.0%

<意識変容・行動変容等に関するKPI>

KPI	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 目標
運動習慣比率 (1回30分以上の運動を週2日以上実施者、40才以上)		21.3%	21.4%	21.7%	19.4%	25.0%
飲酒習慣 (毎日かつ1日清酒換算2合以上飲酒者、40才以上)		12.7%	13.4%	13.7%	10.7%	9.0%
喫煙率	20.5%	18.9%	17.4%	20.4%	17.5%	15.0%
睡眠により十分な休養がとれている人の割合 (40才以上)		59.2%	55.2%	52.1%	56.9%	60.0%
メンタルヘルス検定合格者	37名	16名	12名	22名	15名	20名
ストレスチェック「上司と気軽に話せるか」 (最高1～最低4 平均値)				2.5点	2.4点	2.3点
ストレスチェック「同僚との関係性」 (最高1～最低4 平均値)				2.2点	2.1点	2.0点
ストレスチェック「職場の対人関係でのストレス」(偏差値)				49.7	49.8	50.0

<健康経営最終的な目標に関するKPI>

KPI	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 目標
アブゼンティズム(職員一人当の休務日数) (2週間以上の傷病休務日数/期末職員数)	1.43日	1.35日	1.78日	1.74日	1.69日	1.62日
ワークエンゲージメント (ユトレヒトワークエンゲージメント尺度短縮版3項目)	3.4点	3.4点	3.58点	3.49点	3.20点	3.26点
プレゼンティズム (WHO-HPQ絶対的プレゼンティズム)	62点	62点	70.2点	70.1点	71.4点	72.0点
正職員の中途退職率(年中途退職者÷期初人数)	1.29%	3.72%	4.82%	4.99%	3.66%	3.51%

<健康風土の醸成に関するKPI>

KPI	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 目標
定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
精密検査受診率	97.0%	95.9%	93.4%	98.2%	98.2%	98.0%
ストレスチェック受検率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
ヘルスリテラシー (金庫が推進している健康経営の理解者の割合)		89.5%	93.2%	91.4%	93.7%	95.0%
ヘルスリテラシー (予防接種や健診・検診情報を見つけやすい者の割合)		75.4%	78.5%	79.6%	79.1%	80.0%

産業保健師の活動

人事部や産業医による健康相談ではカバーできない健康問題を解決するため、2019年5月より、医療資格保持者を雇用しています。(2025年10月現在、保健師、看護師各1名)

役職員個人へのアプローチに加え、健康関連セミナーや研修を通じて、正しい健康情報を発信し、役職員のヘルスリテラシー向上に大きく貢献しています。



職場環境改善への取組み(ストレスチェック事後対応)

2020年1月より、ストレスチェックの集団分析結果を基に、ストレス値の高い職場に出向き、職場環境改善に取り組んでいます。

具体的には、独自の職場環境改善チェックシートを活用し、職員同士が話しあう機会を作り、一人一人が職場の環境を良くするためにどうしたら良いか意見を出し合うサポートを行います。また個人の心身の悩みを聞く機会としても役立てています。

この取組みは厚生労働省サイトに掲載されています。

働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト [こころの耳](#)

「職場のメンタルヘルス対策の取組み事例」<https://kokoro.mhlw.go.jp/case/company/cmp098/>

ハイリスク者に対する指導

豊富な専門知識を活かし、健康データの分析・活用を積極的に行いハイリスク者に対しても、きめ細かく指導をし、役職員の健康保持に大いに役立てています。

大阪府信用金庫健康保険組合とのコラボヘルス

大阪府信用金庫健康保険組合と健診情報を共有し、共同して受診勧奨や検診後の事後フォローを実施しています。

その他の活動内容

- ①職員一人一人との個別面談
- ②健診や検診の受診勧奨
- ③保健指導や精密検査等での医療機関の受診推奨
- ④健康関連セミナーの実施
- ⑤扶養家族の健診受診勧奨
- ⑥就業と治療の両立支援
- ⑦職員の相談窓口(育休復職、介護、育児の相談)
- ⑧新入職員や若手職員のサポート

従業員等の意識改革行動変容に向けて

運動習慣の定着

当金庫の職員は「運動習慣がある」と回答した職員割合が、全国平均を下回っていますが、運動習慣が長期的な健康の維持向上につながると考え、定着に向け注力しています。

●だいしん100年体操を朝礼で実施



当金庫の創業100周年事業の一環、および健康経営推進施策として、2019年8月に大阪府立大学と共同で「だいしん100年体操」を制作しました。

毎日始業前に全員がこの体操を行うことで身体的・精神的な緊張の緩和を図り、一日健康に業務に邁進しています。

●2023.4～2025.3 「全員参加で健康経営」の実施

定時退店や歯科検診の受診、登山など、当金庫がオリジナルで設定した健康活動を記録することでポイントを貯めるプログラムです。上位者個人への表彰だけでなく、所属へのグループ表彰を予定しており、周りを巻き込んで皆で健康になることを目的としました。2024年も実施し、約40%が参加し、約30万円程度の賞品を出しています。

●2025.9～ 健康推進プログラム「Vitality」の導入

「全員参加で健康経営」に代わる施策として、2025年9月より、住友生命保険相互会社が提供するサービス「Vitality福利厚生タイプ」を導入しました。

スマートフォン等からアプリを通じて、歩数を管理できる仕組みとなっており、健康増進や運動習慣の改善に対する意識や行動を変え、健康増進活動を楽しく継続してもらうことを目的としています。

全従業員の80%が登録し、9月に所属別のグループで平均歩数を競うイベントを行いました。

●クラブ・同好会活動



野球・テニス・ハイキング・カメラ・ボウリング・アート・釣友会の7クラブ

フットサル・マラソン・ソフトボール・里山ウォーキング・吹奏楽・軽音楽・バスケット・ボルダリング・卓球・カ
ンガルー・合唱・ダーツの12同好会があります。

運動習慣の定着や職員間のコミュニケーション促進の場となっています。

2024年度の登録者は、約15%で、総額450万円の補助を行っています。

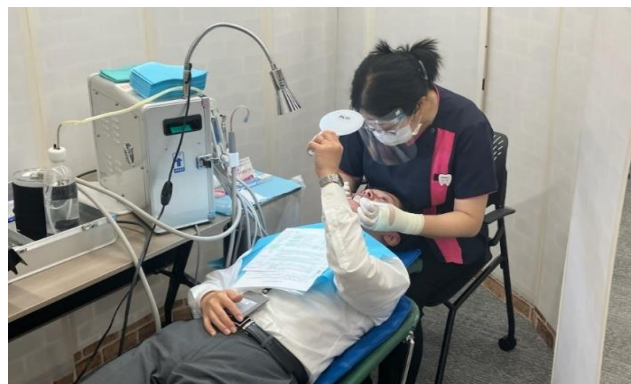
その他健康を維持・増進するための各種施策

● 歯科検診の実施(2025年8月～9月)

職員の口腔健康をサポートするため、当金庫内での歯科検診を実施しました。

早期発見・早期治療の重要性を理解していただく良い機会となりました。約40万円を投資しています。

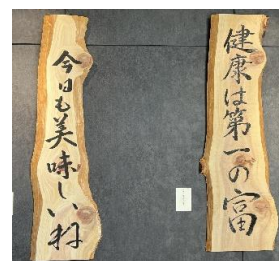
実施回数:2回 参加者数:88名 満足度:95%



● 新本店での健康を意識した食事の提供(2025年8月～)

2025年8月、完成した新本店ビルへ各本部が移転、これを機に社員食堂では業者による健康を意識した食事が提供されています。

メニューにカロリー表記が行われています。



食堂の壁に掲示

● 依存症セミナーの実施(2025年7月)

2025年7月、ギャンブル・アルコールなどの依存症に陥らないために、外部講師を迎え、全従業員向けにセミナーを実施し、依存症についての知識を深めました。

実施回数:1回 アンケート回答率:94% 理解度:100%

● 人間ドックおよび各種がん検診の費用補助(2024年度～)

2024年4月、役職員が自身の病気の治療や家族の看護・介護のため長期休職、離職することを防ぐ目的で、40歳以上の役職員本人および配偶者に対し、人間ドック・各種がん検診を受診した場合に補助金を支給する制度を制定しました。

1人当たり20,000円支給 2024年度受給者:20名

● カスタマーハラスメント対応手順書の制定(2024年度～)

顧客からの常識の範囲を超えた要求や言動の中には、職員の人格を否定する言動、暴力、セクシャルハラスメント等の職員の尊厳を傷付けるものもあります。当金庫は、職員の人権を尊重するため、これらの行為に対して誠意をもってかつ毅然とした態度で対応するため、該当行為、対応方法を明確にした対応手順書を制定しました。

● インフルエンザ予防接種の実施(2019年度～)

インフルエンザの予防接種に対しては、健康保険組合より1人当たり2500円の補助があります。

2019年より集団接種を本部・支店で実施したこともあり、2024年度は約70%の従業員が予防接種を受けています。

● 敷地内全面禁煙、就業時間中禁煙(2020年度～)

敷地内全面禁煙・就業時間内禁煙を実施以降、喫煙率は減少傾向にあります。

労働安全衛生

労災事故の発生状況を確認し、原因別に対策を講じます。

労働災害件数および統計結果

	年齢階層	20代	30代	40代	50代	60代	発生件数計
2023年度	人数	15人	5人	2人	2人	4人	28人
	割合	53.6%	17.9%	7.1%	7.1%	14.3%	100.0%
2024年度	人数	8人	6人	6人	0人	1人	21人
	割合	38.1%	28.6%	28.6%	0.0%	4.8%	100.0%

	係別	得意先	事務	融資	本部職	発生件数計
2023年度	人数	16人	4人	8人	0人	28人
	割合	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	100.0%
2024年度	人数	13人	6人	1人	1人	21人
	割合	61.9%	28.6%	4.8%	4.8%	100.0%

	原因別	転倒等	交通事故	挟まれ (扉・キャビ)	墜落・転落	その他	発生件数計
2023年度	件数	4人	16人	1人	2人	5人	28人
	割合	14.3%	57.1%	3.6%	7.1%	17.9%	100.0%
2024年度	件数	1人	17人	1人	1人	1人	21人
	割合	4.8%	81.0%	4.8%	4.8%	4.8%	100.0%

●交通安全研修の実施(2023年度～)

労災事故の大半が得意先系の交通事故であるため、地元警察の協力を得て、得意先系の交通安全研修を2023年より実施しています。2024年度は23名の若手職員が参加しました。

取引先や地域に向けて

●取引先向け健康経営優良法人取得支援(2021年度～)

健康経営の普及のため、取引先中小企業を対象にした「健康経営優良法人取得支援」を2021年度より実施しています。

取引先企業へ拡げるべく、啓発活動や取得支援等「健康経営」の普及に努め、2024年度は82社(うち、ネクストブライツ2社)の認証取得に貢献しました。

当金庫の各種保険の代理店である旭日興産(株)には、歯科検診・同好会活動への同社社員の参加などの支援を行っています。



●献血活動

当金庫は、役職員および顧客に向け「献血」を毎年2回玉造支店にて実施しています。この活動は、約30年にわたり継続されていますが、社会貢献であるとともに役職員の健康意識を高める結果となっています。

「健康経営優良法人(大規模法人部門)」6年連続認定



当金庫は、健康経営への取組が評価され、2021年より2024年の4年間「健康経営優良法人ホワイト500」の認定を取得しています。

スポーツエールカンパニー認定(2020年11月～)



「だいしん100年体操」を継続的に朝礼等で全店で実施していることを認められ、スポーツエールカンパニー認定を頂きました。
これからも継続的に実施してまいります。

はたらくエール認証(2025年4月～)



はたらきやすい職場環境の整備や、従業員の健康管理に積極的に取り組む企業として、はたらくエール実行委員会が認証する「福利厚生推進法人」を取得しました。